

# 幼 児 の 教 育

昭 和 十 一 年 六 月

## 六 月

外には雨が降りつゞけてゐる。部屋の内は笑ひ聲で晴れわたつてゐる。窓硝子はぬれて曇つてゐるが、子ぎも達の顔はみんな明るく輝いてゐる。外からの光でなく、内からの光である。天の太陽は雲につままれる日があつても、こゝの小さい太陽達は、いつだつて好天氣だ。

その子ぎもらに、またしても鬱陶しそうな顔をして見せるのはおきなだ。なぜかう降るのかと、言つても仕方のないかこちごきを言つて、呟いて聞かせるのもおきなだ。——子ぎもは、知らなくてもいゝこきを、おきなから教へられるこぎが屢々ある。六月の雨だつて、おきなが教へなかつたら、子ぎもには少しも苦にならないものであらう。